

# 争点を問う

## 衆院選 富山の現場から

「久しぶり」「おにぎり ぶ日もある。現役世代や女性も持ってって」。十月中旬、富山駅周辺。次々と集まる人たちにボランティアが弁当を手渡す。地元のグループ「駅北食堂」が週一回、生活困窮者に届ける炊き出しだ。「本当にありがたい。こういう現場こそ政治家が足を運び、現実を見てほしい」。弁当を大事そうに抱えた男性(仮)がつぶやいた。

菅義偉前首相は「まずは自分でやってみる」と自助

# 給付金だけでなく...

コロナ禍で弁当を求める人が急増した。グループによると、従来は平均十数人だったが、三十人近くが並ぶ。生活保護など公助に頼ることが「恥」と思い込める人がいる。「行政は問題を抱えた人に主体的に支援を」と指摘。貧困に陥った人、生活保護など公助に頼ることが「恥」と思い込める人がいる。「行政は問題を抱えた人に主体的に支援を」と指摘。貧困に陥った人、生活保護など公助に頼ることが「恥」と思い込める人がいる。

## ①「公助」のあり方



弁当を渡すボランティア(左)=18日、富山市内で(山岸弓華撮影)

ない。格差がはつきりした。低額宿泊所などを運営するNPO法人「教育研究所」(富山県黒部市)理事長の牟田光生さん(仮)は危機感を抱く。昨年、家賃が払えなくなったなどの理由で、行き場をなくした生活困窮者十七人を受け入れた。例年の三倍超だ。その多くは、コロナで契約を打ち切られた派遣社員を含む非正規社員。厚生労働省に

岸田文雄首相は非正規社員らに給付金を支給する考えを表明。衆院選では、立憲民主や公明、共産など各党も低所得者や子どもらへの給付を掲げ、国民民主党は一律の現金支給を約束している。

こうした現状に、牟田さんは「コロナ禍で大変でない人を見つけての方が難しく、給付金は必要」とするが、「非正規社員の待遇を改善する根本的な解決にはならない」と指摘。給付して終わりではなく、処遇の全般的な底上げが必要だと訴える。

## 昭和の大火の証人



高岡の射水神社は、撰末社「諏訪社」から江戸時代の焼け焦げた棟札が見つかったと発表した。13面

会食人数制限を緩和	12
ヤクルトがリーグV	18
白土三平さんが死去	27
With KIDS	13
おすすめスポット	
特報 25	
社説・発言 5	
囲碁・将棋 23	
お悔やみ 11	
小説「かたばみ」16	
宝くじ 13	
生活	
秋口の寒暖差疲労	16 17

## 《日々ひと言》

子どもたちの心の闇をできるだけ早く治してあげることが必要

富山児童相談所の機能強化を話し合う検討会で、県民生委員児童委員協議会の石原るり子委員=12面

2021.10.27

新型コロナ主な関連 26面

多くの非正規社員が働く飲食店は休業や時短営業を強いられた。牟田さんは困窮者支援の充実を求め、こう強調した。「努力ではどうにもできない状況に追い込まれているからこそこの公助だ」(この連載は山岸弓華、西村理紗が担当しました)